

## 第 39 回あいち学童保育研究集会レポート

【クラブ】(つくしクラブ) 【名前】(西村 巧) 【立場】(指導員)

① 午後に参加した分科会の名称をお書きください。

第( 8 )分科会 名称(いつものがくどうで、いつものように絵本を、お話を。)

※午前の全体会のみに参加した場合は、全体会講演の名称をお書きください。

②全体会講演や分科会に参加して、心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください(自由記述)。

分科会。

いつもの Zoom で、いつものようにサトシンを、お話を。

サトシンと愛知県連の繋がりのキッカケの話は分科会が始まるときの始まりのゴング。

変わらない画面の向こうの王様帽子といつものサングラス。

語り口は物凄くうまいわけではないがそれでも人を引き付ける魅力は多分彼の想像力の賜物だろう。

サトシンの分科会に出て毎回感じることは「自分は自分でいい」の復唱。

絵本にしてもサトシン自身を投影させた物語をうまいことお話にして、「自分は自分でよかった」を押し付けではなく『感じさせる』読ませ方に好感を抱く。

時折混ぜるくだらないギャグは画面の向こう側のオーディエンスを飽きさせないための秘策もタイミングよくうまい事僕らはハマっている。

姿に似合わず「感動」出来る絵本に画面越しに共感する様々な地域の人の顔。

語り口は物凄くうまいわけではないがそれでもやはり人の核心を突く言葉のチョイスは多分彼の想像力の賜物だろう。

サトシン曰く、「絵本とは短い言葉と絵で繋ぐ物語」。

だからこそ、言葉の大事さを知っていて、日本語を大事にしている、そのワビサビを楽しむだけじゃなく、それをみんなに伝える事を惜しみなく続けるバイタリティーはやはり尊敬に値する。

伝える事は僕らの仕事でも大事な要素。

絵本じゃなくても人に伝えるための言葉のチョイスの大事さはやはり僕らも引き継いでいかななくてはならないと改めて思った。

また次回もサトシンの分科会があれば参加したいと思う。

しかし、毎回サトシン音楽は音楽部分が聞こえ辛くそれを知ってか知らないでかノリノリでアカペラになってるサトシンをみると自分も頑張ろう、って思ったりする。

※このレポートは、参加されたすべての保護者と指導員にご提出をお願いしています。

※文字数の制限はありません。この用紙に手書きでもかまいませんし、データでお送りいただいてもかまいません。

※×切は 3/20 (月) です。指導員に手渡し、または、このアドレス [okazakigakudou@yahoo.co.jp](mailto:okazakigakudou@yahoo.co.jp) にお送りください。

※ご提出されたレポートは、当会のホームページや岡崎がくどうの会だより「よりどころ」に掲載する予定です。